

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会
30周年記念事業 報告書

- ・タイトル 対談「翻訳の悩み、挿絵の苦労」金原瑞人 × 佐竹美保
- ・日時 2013年9月21日(土) 10:00~12:00
- ・参加者 255名(うち無料 65名)

秋晴れの連休初日、代表の挨拶で30周年記念の幕があけた。熊本県知事からはご自分の読書経験を交え、読書は夢への駆け橋あり、それを支援するのは大切な活動である、と本会への激励のお言葉を頂戴した。

両氏の対談は、お二人の出会いのエピソードにはじまった。金原氏は、英語の第一人称は透明だが、日本語には僕、私、おれ、わしなどはじめから色がついてしまうといった悩み、佐竹氏からは、目や髪の色など細かい描写は本文中に記述がほんの一行だけしか出てこないの、見落とさないようにする苦労が紹介された。

部屋の戸が開いていたのか、登場人物の位置関係はどうだったのかなど、本文中には出てこないこともわからないと、さし絵はかけない。しかし、挿絵だけでなく、そういった状況がわからなことで翻訳ができないこともあり、それが共通の悩みになる。そんな時には、直接に著者に問い合わせるそうだが、時には、著者自身が気づいていなかった矛盾があからさまになることもあるそうだ。佐竹氏は、翻訳本のイラストについて、著者からお礼状をもらうことがあるそうで、それは「正確な翻訳があつてこそ、著者に認められる挿絵がかける」と金原氏に敬意を示す一場面もあった。

建物の構造や服装、歴史的な背景など資料を調べないと挿絵がかけないため、佐竹氏の家には膨大な資料があり、マンションの部屋の床ゆがんでしまったそうだ。金原氏は、伝記など膨大な資料を必要とする場合には単独での翻訳は難しく、資料集めや、資料からの事実関係のチェックをする人との共訳をするそうだ。共訳については、ヤングアダルトの本を訳すときには、若々しい文体を大事にするため、若い翻訳者と共訳するそうで、「自分で訳すとおじさんの文体になってしまつて」、「省力化のための共訳ではありません」などと会場を笑わせた。最後は時間いっぱいまで途切れることなくお二人への質問が出て、名残惜しさの中で午前の部が終了した。ロビーには佐竹氏の原画が展示された。緻密な原画を、息を詰めて見入る人びとの姿があった。

なお、当日は、参加者全員に『子どもがみつけた本』（熊本子どもの本の研究会出版部刊 1475円）を1冊プレゼントしました。その費用は、熊本放送文化振興財団からの助成金10万円を充てた。

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会
30周年記念事業 報告書

- ・タイトル 谷川俊太郎と中高生の座談と音楽を楽しもう！
- ・日 時 2013年9月21日（土）13：30～16：00
- ・参加者 356人【うちご招待・大人60人、子ども（500円）100人】

午後の部は谷川賢作さん、さがゆきさんのピアノとボーカルセッションで楽しい音楽で始まった。

企画として二回目でもある谷川俊太郎さんと中高生の座談は和やかな雰囲気。会場のお客様方もどんな話が飛び交うのだろうとステージを見守る中、「始めちゃっていいの？」と谷川俊太郎さんの一言で一気に会場は谷川ワールドへ。

四人の高校生の自己紹介でまずは一人一人に谷川俊太郎さんからの質問。

「今、一番楽しい事は何ですか？」「寝る事です。」「僕も一番寝る時が楽しみ！」

「今のこの時代、どう思う？」「おかしな時代だよね。変って感じ。」

「趣味は何ですか？」「軽音楽をしているので。」「ギター持ってくれば良かったのに。話に困ったらギター弾けばいいのに。」と、これに続き、リラックスした四人の高校生がそれぞれにジャンルを問わない色々な質問を投げ掛ける。学生らしい真っ直ぐで真剣な内容に対し、その一つ一つに解りやすい言葉で答えられる。一言一句聞き逃すともったいないという様な学生達。会場の方々。笑いも交じりながらのあっという間の時間でした。

質問の時間には、若い参加者から次々と手が上がり、時間をオーバーしての谷川俊太郎さんと高校生の座談でした。

会話には「次はいつ来て下さるのかな。」との言葉も聞かれました。谷川俊太郎さんに出会えた素晴らしさは老若男女、同じ感動を得たのではないでしょうか。

当日は、熊日、毎日、読売、西日本新聞各社の取材と、熊本朝日放送の取材がありました。掲載記事を同封いたします。

また、当日は参加者全員に『子どもが見つけた本』（熊本子どもの本の研究会出版部刊 1475円）を贈呈しました。費用は、熊本放送文化振興財団からの助成金 10万円を充てた。

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会30周年記念事業
決算書

収入の部

費目	決算額(円)	内訳
参加費	436,000	午前の部大人190名×1,000=190,000 午後の部大人196名×1,000=196,000 子ども100名×500=50,000 (招待午前65名・午後60名)
子どもゆめ基金	830,000	内定
熊本放送文化振興財団助成金	200,000	
合計	1,466,000	

支出の部

費目	決算額(円)	内訳
謝金	367,000	谷川俊太郎謝金100,000円・谷川賢作50,000円・さがゆき50,000円・金原瑞人50,000円・佐竹美保50,000円・プログラムデザイン謝金10,000円・団体構成員謝金27,000円
旅費・宿泊費	330,000	講師航空券代・タクシー代
雑役務費	41,300	看板・垂れ幕代
印刷・通信費	174,081	チラシ郵送代・インク・ラベル・封筒・プログラム印刷代
その他経費	553,619	贈呈本代・会場代・スタッフ昼食代・花代・講師御土産代・他
合計	1,466,000	

谷川俊太郎さん(右端)と、詩や人生について語り合った高校生4人
=熊本市西区のくまもと森都心プラザホール



詩、夢、死…思い語り合う

詩人の谷川俊太郎さん(81)＝東京＝と県内の高校生が対談するイベントが9月、熊本市で開かれ、詩や夢、死について語り合った。NPO法人熊本子ども本の研究会(同市)の創立30周年記念事業。

県内高校生 谷川俊太郎さんと対談 熊本市

高校生は必由館高2年の川原岬さん、済々黷高3年の坂本ひと美さんと有働秀作君、梅田健太郎君。谷川さんのユーモアあふれる話術に乗せられるように、それぞれの思いを率直にぶつけた。

文芸部に所属する坂本さんは「詩が持つ力とは何ですか」と問い掛けた。谷川さんの答えによると、それは「権力や財力に比べると小さいけど、ジワジワ効いてくる」ものだそうです。

では、創作のコツは？ 軽音楽部に所属し、作詞をしたいという梅田君の悩みは「ありきたりの言葉ばかりが出てくる」と。谷川さんは「それをプロックするのが大変なんだよね」と同調し、「感情が高ぶっている時には詩を書かない方がいい。日常的な感情から離れ、心が平靜な時に、言葉がふっと浮かんでくる」とアドバイスした。

「夢がない」と語ったのは川原さん。谷川さんから「明日は何をするの？ 1年後は何をしてるの？」と質問され、答えていくうちに近未来の目標が浮かび

上がってきた。谷川さんはそこに手を差し伸べるかのように、「大きくて手が届かないようなものだけが夢じゃなく、計画だつて夢。それをやっていけばいいのでは」と語った。

「谷川さんの死生観を教えてください」と。有働君の問い掛けに、会場は一瞬静まり返った。有働君は、知人が大病を患い、死について考えるようになったという。「以前は死んだらゼロになると思っていた」という谷川さんだが、「年をとってみて、体が不自由になっても魂はある、だから、死んでも魂は残るんじゃないかと思うようになった」と心境の変化を述べた。

「自殺が増えている日本の現状はおかしい」とも訴えた有働君。谷川さんは「自殺をひとくりにせず、個人の死として見てほしい。死を選んだ背景を想像すれば、共感することもできるし、それを避けるために必要なことも見えてくる」。

対談終了後、谷川さんから握手を求められた高校生たち。楽屋に戻ると、疲れた様子で「思いをうまく言えなかった」と反省を口にしたが、4人の心には谷川さんの言葉が深く刻まれたのではないだろうか。

(中村美弥子)

詩の創作過程明かす

熊本市

谷川俊太郎さんと高校生が座談会

詩人の谷川俊太郎さんと高校生による座談会が21日、熊本市のくまもと森都心プラザで開かれた。活動開始から30年の同市のNPO法人「熊本子ども本の研究会」が企画。谷川さんのざっくばらんな語り会場は和やかな雰囲気になった。

最初に、谷川さんの息子で作曲家の賢作さんと、歌手のさがゆきさんによるコンサートがあり、谷川さんが作詞した「鉄腕アトム」などを披露した。

続いて、公募で選ばれた熊本市内の高校生4人が、日ごろ思っていることを谷川さんに率直に質問した。

詩の書き方を問われた谷川さんは「自分を空っぽにし、喜怒哀楽のない中性的な感情になって意識下に入ると、思いがけない言葉がポコッと出てくる」と説明。書き出しが決まったら「理性を使い、1カ月〜1カ月半の間、毎朝パソコンで直す」と創作の過程も明かした。

「『最近の若者は』と言う大人は一体どうしてほしいのか」という質問に対しては「自

分たちが今の時代を作ったという意識の薄い大人が多い。好きなことを見つけて大人に遠慮しないでやればいい。自分の小さな世界を信じて、この現実世界を変えていってほしい」と話した。

【澤本麻里子】



高校生と対談する谷川さん(右)

平成25年9月22日(日) 毎日新聞

「学びたい」思い原動力

熊本子ども本の研究会30周年



「びわの木文庫」は横田さんが自宅リビングで始めた小さな家庭文庫が始まり。現在は別棟になっている＝熊本市

「子どもにおはなしを本のたのしみを」を言葉に、読み聞かせや勉強会を続けるNPO法人「熊本子ども本の研究会」は今年、創立30周年を迎えた。理事長の横田幸子さん(74)＝熊本市＝は「母親たちの『学びたい』という思いが原動力だった」と振り返る。(小野由起子)

創立は1983年5月。自宅で家庭文庫「びわの木文庫」を主宰していた横田さんらの学習会が核となった。主な活動は、絵本やわらわつたを学ぶ例会、講演会、訪問お話し会などのボランティア。創立から半年後の同年12月には児童文学作家の松谷みよ子さんの講演

多くなかったけれど、学びたい人、刺激を求めていた人はたくさんいたんです」と横田さん。当時、会員のほとんどは子育て中の主婦。横田さんは「例会の運営も会報の編集も、最初は何もかも手探り。その経緯は、会員一人一人にとって財産になったと思います」。

母親たちの自己実現の場にも

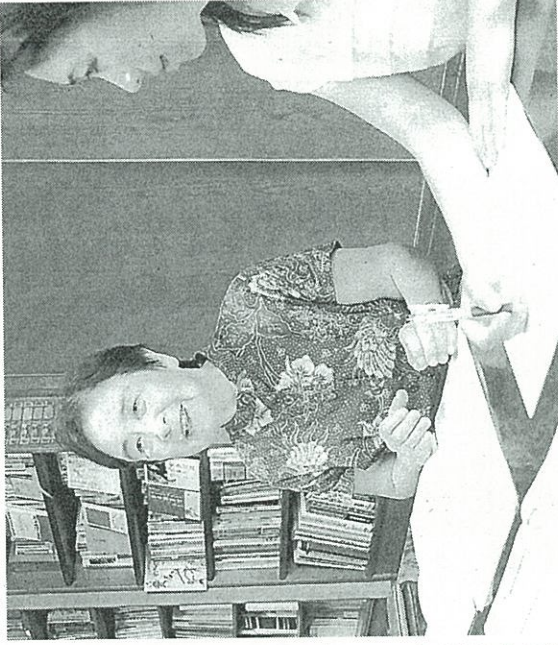
会を企画し、1200人を集めた。「『本当に本人が来られるのですか』と驚かれました。当時の熊本は、今のよつに講演会などは

最近では仕事を持つ会員も増え、週末や夜間のセミナーも開く。現在、会員は県内外に約200人。20代後半から60代までと幅広く、子どもの成長後も続ける人も多い。2013年度運営スタッフの一人、堀祐子さん(43)＝同市＝は「活動を通して、いろんな人に出会いました。子育てで悩んだ時も、孤独ではなかった」。

もう一つの財産は、県内外に広がったネットワーク。創立10周年の際に、県内20会場で各5回の「語り手育成講座」を開催。その後、地域のお話会などに育ったグループもある。節目の年には詩人谷川俊太郎さん、哲学者鶴見俊輔さん、作家池澤夏樹さんらを招いて記念講演会も開いた。同会のモットーは「ま

まが大人が学ぶこと」。横田さんは「子どものための活動ですが、お母さんたちの自己実現の場にもなっている。だから続

運営スタッフと30周年記念事業の進行などを打ち合わせる横田幸子さん(左)



けてこれたと思います」。

ゲームやインターネットの普及で子どもの読書離れも懸念されているが、横田さんは「今の子どもは部活動や塾などで忙しすぎる。ゆつくり本を読んで、物思いにひける時間を大切してほしい」。

今や図書館や公民館では当たり前のように児童書コーナーがあり、お話し会が開かれる。「30年掛けてきた種を、これからも大きく育てていきたい」と横田さんは話している。

森都心プラザで21日に記念催し

「谷川俊太郎と中高生の座談と音楽を楽しもう!」。詩人の谷川さんが中高生の質問に答え、ピアニスと谷川賢作さん、歌手さがゆきさんも公演する。入場料はそれぞれ前売り大人1000円、高校生以下500円。午前の部のみ先着200人の小・中・高校生は無料(事前申し込みが必要)。同研究会☎096(382)5090。

熊本子ども本の研究会は21日、熊本市西区春日のくまもと森都心プラザで創立30周年記念イベントを開く。午前の部(10～12時)は対談「翻訳の悩み、挿絵の苦労」。ヤングアダルト文学を中心に手掛ける翻訳家金原瑞人さんと画家佐竹美保さんが語り合う。午後の部(1時半～4時)は

午後の部

30周年
記念事業

谷川俊太郎と中高生の 座談と音楽を楽しもう!



日時

2013年9月21日(土) 13:30~16:00(開場13:15)

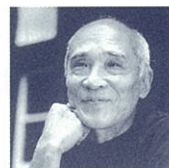
会場

くまもと森都心プラザ 5F プラザホール 〒860-0047 熊本市西区春日1丁目14番1号
TEL.096-355-7400

出演

谷川俊太郎 & 中高生(公募)
谷川賢作(ピアノ) & さがゆき(ボーカル)

サイン会:有り



谷川 俊太郎



谷川 賢作



さがゆき

たにかわ しゅんたろう

1931年東京生まれ。詩人。1952年「二十億光年の孤独」でデビュー。詩作のほか、絵本、翻訳など幅広く活躍している。読売文学賞、日本翻訳文学賞、野間児童文芸賞、萩原朔太郎賞、鮎川信夫賞ほか受賞多数。

たにかわ けんざく

1960年生まれ。ピアニスト・作曲家。作曲家佐藤允彦に師事し、1986年に映画「鹿鳴館」で作曲家デビュー。1996年に現代詩を歌うグループ「Diva」を結成。父谷川俊太郎とともに全国各地で音楽と朗読のコンサートを行っている。NHKの歴史番組「その時歴史が動いた」の音楽を担当していた。

さがゆき

天空を自在に舞う声～現代の巫女、さがゆき。5才にして歌手になることを決意。言葉を伴う「うた」を歌う歌手であると同時に、言葉の伴わない「声」を楽器としたフリーキーで幻想的な「完全即興」を歌う稀有な存在でもある。海外での活動も多い。高橋悠治作曲「眼の夢」の初演、舞踏家の大野一雄や詩人谷川俊太郎との共演…等。

料金

大人[前売券].....1,000円
[当日券].....1,200円

高校生以下[前売券].....500円
[当日券].....600円

※定員になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

[主催] 特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会

[後援] 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本県文化協会 熊本日日新聞社 熊本県保育協議会 熊本県保育協会 熊本市保育連盟
熊本県私立幼稚園連合会 NHK 熊本放送局 RKK・TKU・KKT・FMK・KAB 各局

[助成] 子どもゆめ基金 熊本放送文化振興財団

お問い合わせ・お申し込み先



特定非営利活動法人
熊本子どもの本の研究会

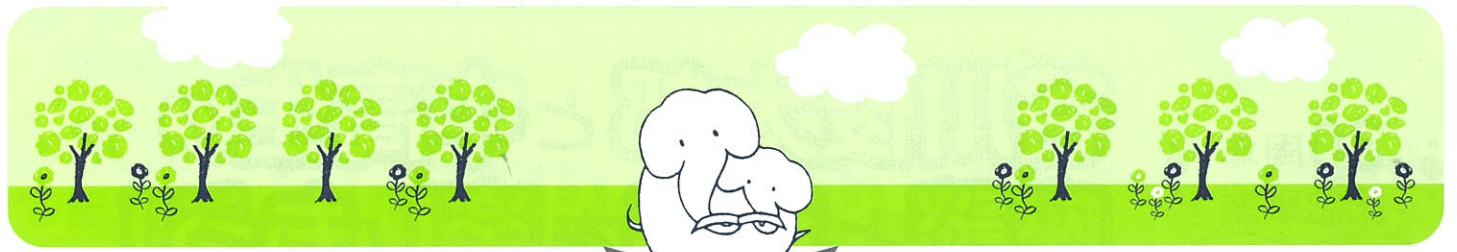
〒861-8029 熊本県熊本市東区西原1丁目15の24

TEL&FAX 096-382-5090

[e-mail] kenkyukai@kodomonohon.com

[ホームページ] http://www.kodomonohon.com

参加費振込先 ゆうちよ銀行 [振替口座番号:01920-4-1211 口座名:熊本子どもの本の研究会]



おかげさまで、特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会は、今年、創立 30 周年を迎えました。

これまで活動を支えてくださいました皆様方に、感謝と共に厚く御礼申し上げます。

記念事業として、玉名、天草、阿蘇地区で講座を企画しました。

そして今回、子どもから大人まで楽しめる魅力ある対談、座談、音楽をご一緒に楽しみたいと思います。

沢山の皆様のご参加をお待ちしております。

谷川俊太郎さんと中高生の座談での中高生募集！

募集要項

谷川俊太郎氏との座談に参加する中高生を **5名程度** 公募します。応募される方は、下記の問いに教えてください。

Q1 谷川俊太郎さんに聞いてみたいことを出来るだけ **具体的に3つ** 挙げてください。

Q2 谷川俊太郎さんの本で好きな本は何ですか？ **書名** を上げてください。

上記の問いに答えて、下記の住所へ **郵送** してください。

- 書式は、A4用紙1枚に、横書きで箇条書きにして、最後に、郵便番号・住所・氏名(性別)・学校名・学年・電話(自宅)を明記してください。
- 締 切 日：2013年7月31日(水) (必着)
- 送 付 先：〒861-8029 熊本市東区西原1丁目15の24 NPO法人 熊本子どもの本の研究会
- 問合せ先：TEL.096-382-5090 (熊本子どもの本の研究会) HP.<http://www.kodomonohon.com>

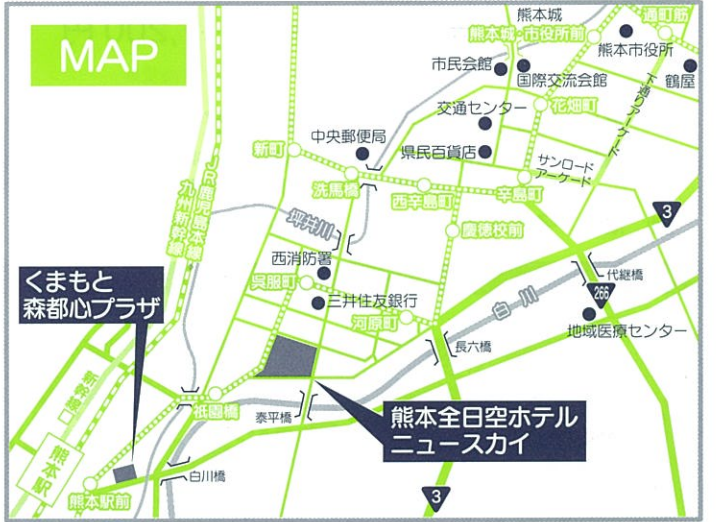
※熊本子どもの本の研究会で選考後、採択については、9月3日までに応募者全員にハガキでご連絡いたします。

祝賀会へのお誘い

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会
30周年を記念して、

～トークと音楽を楽しむ夕べ～
(谷川俊太郎・金原瑞人・佐竹美保・さがゆき・谷川賢作)

- 日 時：2013年9月21日(土) 18:00～20:00
- 会 場：熊本全日空ホテルニュースカイ
- 参加費：6,500円
- 対 象：成人のみ (一般の方のご参加をお待ちしています)



お申し込み用紙

参加希望欄の に チェック を入れ、必要事項を記入し、申し込み先、振込先へお送りください。

事前申込期日: 締切日 9月15日(日)。申し込みと同時に参加費は振り込んでください。

<input type="checkbox"/> 午前の部 対談「翻訳の悩み、挿絵の苦勞」			
お名前	住所	電話番号	参加費
	〒	- -	大人 <input type="checkbox"/> 1,000円 高校生以下 <input type="checkbox"/> 500円
	〒	- -	大人 <input type="checkbox"/> 1,000円 高校生以下 <input type="checkbox"/> 500円
	〒	- -	大人 <input type="checkbox"/> 1,000円 高校生以下 <input type="checkbox"/> 500円
			振込総額
			合計 円

募集人数：480人 募集対象：小学生以上
参加費：1,000円（当日1,200円）／高校生以下500円（当日600円）
※定員に達した場合、当日券がない場合がありますので早めにお申し込みください。

<input type="checkbox"/> 午後の部 谷川俊太郎と中高生の座談と音楽を楽しもう！			
お名前	住所	電話番号	参加費
	〒	- -	大人 <input type="checkbox"/> 1,000円 高校生以下 <input type="checkbox"/> 500円
	〒	- -	大人 <input type="checkbox"/> 1,000円 高校生以下 <input type="checkbox"/> 500円
	〒	- -	大人 <input type="checkbox"/> 1,000円 高校生以下 <input type="checkbox"/> 500円
			振込総額
			合計 円

募集人数：480人 募集対象：小学生以上
参加費：1,000円（当日1,200円）／高校生以下500円（当日600円）
※定員に達した場合、当日券がない場合がありますので早めにお申し込みください。

<input type="checkbox"/> 祝賀会			
お名前	住所	電話番号	参加費
	〒	- -	<input type="checkbox"/> 6,500円
	〒	- -	<input type="checkbox"/> 6,500円
	〒	- -	<input type="checkbox"/> 6,500円
			振込総額
			合計 円

※提供いただきました個人情報については、当法人の活動以外に使用いたしません。

午前の部 参加費総額	午後の部 参加費総額	祝賀会 参加費総額	チケット送料	総振込金額
円 +	円 +	円 +	80 円	合計 円

申し込み先: Fax **096-382-5090**
 郵送先: 〒861-8029 熊本市東区西原1丁目15の24 NPO法人 熊本子どもの本の研究会
 振込先: ゆうちょ銀行【振替口座番号】01920-4-1211 【口座名】熊本子どもの本の研究会
 問合せ先: 096-382-5090 (熊本子どもの本の研究会)
<http://www.kodomonohon.com> e-mail: kenkyukai@kodomonohon.com

事務局記入欄です。ここには記入しないでください。

申し込み受付日	月 日	参加費入金日	月 日	チケット発送日	月 日
---------	-----	--------	-----	---------	-----

午後の部

30周年
記念事業

谷川俊太郎と中高生の 座談と音楽を楽しもう!

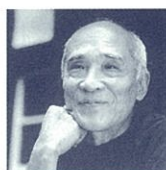


日時 2013年9月21日(土) 13:30~16:00(開場13:15)

会場 くまもと森都心プラザ 5F プラザホール 〒860-0047 熊本市西区春日1丁目14番1号
TEL.096-355-7400

出演 谷川俊太郎 & 中高生(公募)
谷川賢作(ピアノ) & さがゆき(ボーカル)

サイン会:有り



谷川 俊太郎



谷川 賢作



さがゆき

たにかわ しゅんたろう
1931年東京生まれ。詩人。1952年「二十億光年の孤独」でデビュー。詩作のほか、絵本、翻訳など幅広く活躍している。読売文学賞、日本翻訳文学賞、野間児童文芸賞、萩原朔太郎賞、鮎川信夫賞ほか受賞多数。

たにかわ けんざく
1960年生まれ。ピアニスト・作曲家。作曲家佐藤允彦に師事し、1986年に映画「鹿鳴館」で作曲家デビュー。1996年に現代詩を歌うグループ「Diva」を結成。父谷川俊太郎とともに全国各地で音楽と朗読のコンサートを行っている。NHKの歴史番組「その時歴史が動いた」の音楽を担当していた。

さがゆき
天空を自在に舞う声~現代の巫女、さがゆき。5才にして歌手になることを決意。言葉を伴う「うた」を歌う歌手であると同時に、言葉の伴わない「声」を楽器としたフリーキーで幻想的な「完全即興」を歌う稀有な存在でもある。海外での活動も多い。高橋悠治作曲「眼の夢」の初演、舞踏家の大野一雄や詩人谷川俊太郎との共演…等。

料金 大人[前売券].....1,000円
[当日券].....1,200円

高校生以下[前売券].....500円
[当日券].....600円

※定員になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

[主催] 特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会

[後援] 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本県文化協会 熊本日日新聞社 熊本県保育協議会 熊本県保育協会 熊本市保育連盟
熊本県私立幼稚園連合会 NHK 熊本放送局 RKK・TKU・KKT・FMK・KAB 各局

[助成] 子どもゆめ基金 熊本放送文化振興財団

お問い合わせ・お申し込み先



特定非営利活動法人
熊本子どもの本の研究会

〒861-8029 熊本県熊本市東区西原1丁目15の24

TEL&FAX 096-382-5090

[e-mail] kenkyukai@kodomonohon.com

[ホームページ] http://www.kodomonohon.com

参加費振込先 ゆうちょ銀行 [振替口座番号:01920-4-1211 口座名:熊本子どもの本の研究会]

30周年記念

子どもにおはなしを 本のたのしみを!

日時 2013年9月21日(土) 10:00～20:00

会場 くまもと森都心プラザ 5Fホール



主催 特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会

助成 子どもゆめ基金助成活動 熊本放送文化振興財団



午前の部

9:45 午前の部 開場

10:00 開会

主催者挨拶

横田幸子

来賓祝辞 熊本県知事

蒲島郁夫

10:20 対談 **「翻訳の悩み、挿絵の苦勞」**

金原瑞人 × 佐竹美保

12:00 午前の部終了 サイン会

午後の部

13:15 午後の部 開場

13:30 **谷川賢作&さがゆきの音楽を楽しもう!**

谷川賢作 & さがゆき

— 休憩 —

14:30 座談 **「谷川俊太郎氏に聞きたいこと
&好きな本について」**

谷川俊太郎 & 4人の高校生

16:00 午後の部終了 サイン会

祝賀会

18:00 **「トークと音楽を楽しむ夕べ」**

ゲスト：谷川俊太郎 佐竹美保 谷川賢作 さがゆき

20:00 終了